

# 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑪

## 2月検針分（主に12・1月使用分）

### 用途別の影響

令和3年2月の検針データを前年同月と比較すると、下表のとおりとなります。

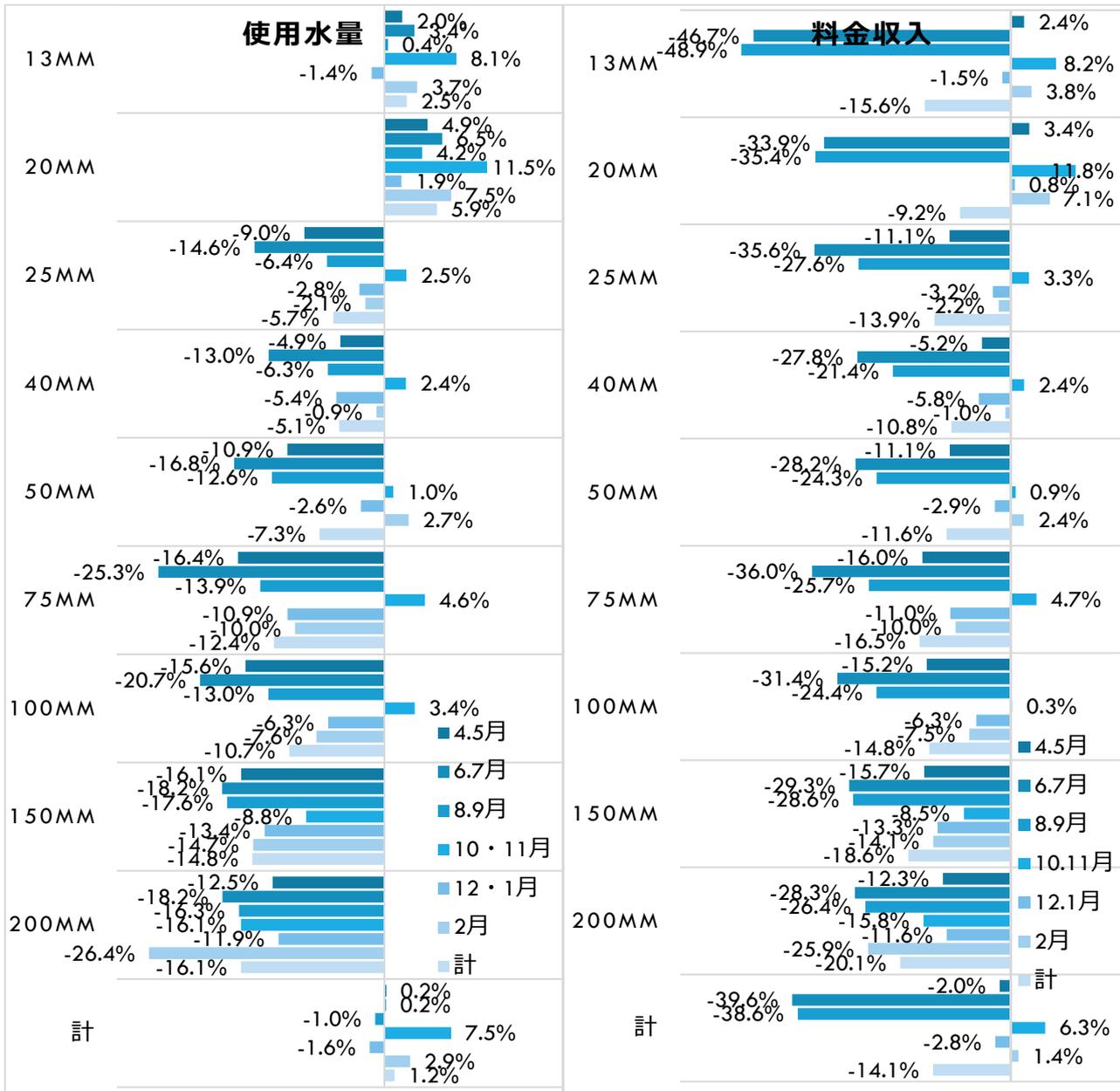
4、5月は、主に家事用の口径20mm以下のメーターでは水量、金額ともに増、主に業務用の口径25mm以上のメーターではともに減、6～9月は、全体的に水量、料金ともに減となりました。10、11月分は、20mm以下、25mm以上ともに水量、金額ともに増、12、1月分は、再び減に転じましたが、2月は、20mm以下は水量、金額ともに増となりました。

料金は、20mm以下の増加分が25mm以上の減少分を上回り、約280万円、約1%の増収となりました。なお、同じ対象者の12月検針分と比較すると、使用水量は64,400m<sup>3</sup>の増加、料金も約670万円の増加となっています。11月からの新型コロナウイルス感染症第3波の影響については、緊急事態宣言後の影響を見極める必要があります。

検針年	区分	2月検針分（12・1月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1 (H31)	水量 (m <sup>3</sup> )	1,368,169	301,022	1,669,191
	金額(税抜き:円)	132,293,125	68,279,875	200,573,000
	供給単価(円)	96.69	226.83	120.16
R2	水量 (m <sup>3</sup> )	1,429,555	288,288	1,717,843
	金額(税抜き:円)	138,220,720	65,163,385	203,384,105
	供給単価(円)	96.69	226.04	118.40
増減	水量 (m <sup>3</sup> )	61,386	△ 12,734	<b>48,652</b>
	増減率	4.49%	△4.23%	<b>2.91%</b>
	金額(税抜き:円)	5,927,595	△3,116,490	<b>2,811,105</b>
	増減率	4.48%	△4.56%	<b>1.40%</b>
	供給単価(円)	△ 0.01	△ 0.79	<b>△ 1.77</b>
	増減率	△0.01%	△0.35%	<b>△1.47%</b>

## 口径別の変動率

口径別の変化を見ると、下のグラフに表すとおり 13、20、50 mm以外の口径で使用水量、料金収入ともに減少しています。4月からの合計では、水量は、1.2%とわずかに前年度を上回りますが、料金は14.1%、減額措置の影響を差し引いても0.8%減少しています。



## 結論

使用水量合計の変動率は、2.9%であり、令和元年度の変動率の範囲（月△4.2%～+2.5%）を若干上回りました。12,1月に見られた減退傾向から、回復傾向となっています。緊急事態宣言後の1月の使用も反映されていますが、4月の宣言ほどの影響はなく、50mmで増加するなど、家庭に加え、一部の業務活動も活発であることが分かります。